



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6069 URL <https://www.trenders.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）黒川 涼子
問合せ先責任者 （役職名）取締役CFO （氏名）田中 隼人 TEL 03-5774-8876
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	2,424	43.0	101	20.2	90	△27.6	31	△49.0
2026年3月期第1四半期	1,695	11.8	84	△57.2	124	△36.7	61	△50.2

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 29百万円（△48.7％） 2026年3月期第1四半期 56百万円（△57.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	4.03	—
2026年3月期第1四半期	7.80	7.80

（注）2027年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	11,898	4,045	34.0
2026年3月期	12,512	4,286	34.3

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 4,043百万円 2026年3月期 4,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	36.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,500	14.8	900	23.8	810	11.8	450	107.6	57.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	8,101,000株	2026年3月期	8,101,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	341,464株	2026年3月期	341,464株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	7,759,536株	2026年3月期1Q	7,871,403株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当社グループが属するインターネット広告市場は、社会のデジタル化に伴って着実に成長を続けており、2025年の市場規模は4兆459億円（前年比10.8%増）となりました。同年の日本の総広告費は8兆623億円（前年比5.1%増）で過去最高を更新しておりますが、インターネット広告費は日本の総広告費の50.2%を占めており、インターネット広告が広告市場全体を支え、牽引している状況といえます。（株式会社電通「2025年 日本の広告費」）。

インターネットが社会全体のインフラとなっている現在、インターネットでアクセスできる各種プラットフォームやWebサイト、Webサービス等は、生活者にとって欠かせない情報源です。中でも、多種多様なアカウントより発信される情報をリアルタイムで入手できるSNSは、生活者の意識や購買行動に与える影響力を増しており、企業においても、SNSを活用したマーケティングに注力する動きが加速しております。

こうした環境のもと、当社グループにおいては、事業の選択と集中を図りながら、さらなる成長を見据えた事業投資を実施しつつ、顧客企業及び生活者のニーズに合致するSNSを軸としたマーケティングソリューションの開発・提供に注力いたしました。

また、2025年3月期末にはイベント総合プロデュースを手掛ける株式会社zenplusを、2025年12月にはECモールに特化した戦略コンサルティング・運用代行サービスを手掛けるしるし株式会社を子会社化いたしました。

これにより、当社グループが従来より強みとしているSNSマーケティングと、リアルイベントやECモールを連動させることでより立体的なマーケティングソリューションを提供すること、及び、従来注力していた美容領域以外のカテゴリを開拓することに取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,424,371千円（前年同期比43.0%増）
営業利益	101,494千円（前年同期比20.2%増）
経常利益	90,049千円（前年同期比27.6%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,299千円（前年同期比49.0%減）

セグメント別の業績は以下の通りです。

なお、「ECコンサルティング事業」は、前第3四半期連結会計期間より新たに報告セグメントとして追加したため、前年同期との比較は記載しておりません。

①マーケティング事業

マーケティング事業は、「マーケティング領域」「メディカル領域」の2領域から構成されます。各領域の内容は以下の通りであります。

<マーケティング領域>

SNSファーストな統合型プランニングによるマーケティング支援

<メディカル領域>

自由診療クリニックのマーケティング支援

本事業においては、マーケティング領域において、インフルエンサーマーケティング、イベントが好調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,131,341千円（前年同期比27.8%増）
セグメント利益	178,565千円（前年同期比117.1%増）

②インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、非上場会社を始めとする成長事業・企業への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益と、1件の株式の売却収益が発生しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	32,878千円（前年同期比15.7%増）
セグメント利益	30,504千円（前年同期比9.2%増）

③ECコンサルティング事業

ECコンサルティング事業は、前第3四半期連結会計期間に新設したセグメントで、ECモールに特化した戦略コンサルティング・運用代行サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	260,150千円
セグメント損失	82,302千円

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は11,898,503千円（前連結会計年度末比613,609千円減少）となりました。主な要因は、営業投資有価証券の増加があった一方で、現金及び預金の減少があったことによるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は7,852,559千円（前連結会計年度末比372,909千円減少）となりました。主な要因は、未払法人税等及び長期借入金が減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は4,045,943千円（前連結会計年度末比240,700千円減少）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があった一方で、配当金の支払に伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,777,491	2,095,649
受取手形及び売掛金	2,367,551	2,579,148
営業投資有価証券	712,667	2,406,410
商品	106,455	238,983
仕掛品	101,441	108,640
その他	485,294	462,942
貸倒引当金	△70,662	△73,486
流動資産合計	8,480,239	7,818,287
固定資産		
有形固定資産	120,561	101,600
無形固定資産		
のれん	3,617,924	3,520,267
ソフトウエア	26,373	25,483
その他	47	47
無形固定資産合計	3,644,345	3,545,799
投資その他の資産	266,966	432,816
固定資産合計	4,031,873	4,080,216
資産合計	12,512,112	11,898,503
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,196,259	1,333,193
短期借入金	1,900,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	961,536	936,534
未払法人税等	268,178	74,398
賞与引当金	42,100	27,512
資産除去債務	—	49,318
その他	633,725	577,068
流動負債合計	5,001,799	4,898,026
固定負債		
長期借入金	3,162,353	2,946,971
資産除去債務	51,831	2,657
その他	9,484	4,904
固定負債合計	3,223,668	2,954,533
負債合計	8,225,468	7,852,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,048	648,048
資本剰余金	784,110	784,110
利益剰余金	3,137,220	2,896,936
自己株式	△299,977	△299,977
株主資本合計	4,269,402	4,029,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,641	14,425
その他の包括利益累計額合計	16,641	14,425
新株予約権	600	2,400
純資産合計	4,286,644	4,045,943
負債純資産合計	12,512,112	11,898,503

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	1,695,717	2,424,371
売上原価	844,434	1,327,064
売上総利益	851,282	1,097,306
販売費及び一般管理費	766,875	995,812
営業利益	84,407	101,494
営業外収益		
受取利息	53	6
受取管理料	900	900
保険解約返戻金	33,809	—
前期損益修正益	—	8,975
雑収入	11,550	4,981
その他	1,709	90
営業外収益合計	48,021	14,952
営業外費用		
支払利息	8,033	26,383
その他	0	14
営業外費用合計	8,033	26,398
経常利益	124,395	90,049
特別利益		
固定資産売却益	—	2,000
特別利益合計	—	2,000
特別損失		
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	124,395	92,049
法人税、住民税及び事業税	59,025	68,112
法人税等調整額	3,984	△7,362
法人税等合計	63,010	60,750
四半期純利益	61,385	31,299
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,385	31,299

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	61,385	31,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,720	△2,216
その他の包括利益合計	△4,720	△2,216
四半期包括利益	56,665	29,083
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,665	29,083
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	マーケティング 事業	インベストメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,667,311	28,405	1,695,717	—	1,695,717
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,667,311	28,405	1,695,717	—	1,695,717
セグメント利益	82,237	27,930	110,168	△25,760	84,407

（注）1. セグメント利益の調整額△25,760千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに
帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	マーケティング 事業	インベストメ ント事業	ECコンサルテ ィング事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,131,341	32,878	260,150	2,424,371	—	2,424,371
セグメント間の内部売 上高又は振替高	606	—	—	606	△606	—
計	2,131,948	32,878	260,150	2,424,978	△606	2,424,371
セグメント利益又は損失 （△）	178,565	30,504	△82,302	126,767	△25,273	101,494

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△25,273千円は、全社費用であります。全社費用は、報
告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、しるし株式会社及びしるし株式会社の子会社（以下「しるしグループ」）
を当社の子会社としたことに伴い、しるしグループが展開する、ECモールに特化した戦略コンサルティング・
運用代行事業について、報告セグメントとして「ECコンサルティング事業」を新設しております。

なお、当該変更は従来存在しなかった区分の新設であることから、前第1四半期連結累計期間のセグメント
情報については従来の区分に基づき開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	9,968千円	19,612千円
のれんの償却額	20,328	97,656